

平成26年度
事業報告書
(概要版)

(自) 平成26年4月 1日

(至) 平成27年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成26年度事業概要	1
I. 法人運営部門	2
1 役員会開催状況	
2 評議員会開催状況	
3 監査状況	
4 苦情の受付及び解決状況	
II. 地域福祉活動推進部門	2
1 民生委員・児童委員活動支援事業	
2 地域福祉活動計画策定事業	
3 ボランティアセンター事業	
4 小地域ネットワーク活動	
5 福祉教育・啓発活動	
6 地域子育て支援事業	
7 各種福祉団体支援事業	
8 共同募金配分金事業	
III. 福祉サービス利用支援部門	14
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	
2 法人後見事業	
3 生活福祉資金貸付事業	
4 福祉資金（小口）貸付事業	
5 移送サービス事業	
6 放課後児童クラブ事業	
7 住民の福祉活動の推進・支援	
8 富士地区コミュニティバス実験運行事業（富士町コミュニティバス運行事業）	
9 三瀬地域巡回バス運営事業	
10 流水浴機器等管理運営事業	
11 老人福祉センター等運営事業	
12 松梅児童館運営事業	
13 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	
14 佐賀市産業振興会館管理事業	
15 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	
16 佐賀市久保田総合センター管理事業	
IV. 在宅福祉サービス部門	18
1 居宅介護支援事業	
2 訪問介護事業	
3 通所介護事業	
4 ガイドヘルパー事業	
5 身体障がい者居宅介護支援事業	
V. その他の事業	20
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	
VI. 決算の概要	22

平成26年度事業概要

今、地域社会には、貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ホームレス、ニートなど、既存の社会保障・社会福祉ではなかなか解決に至らない問題が顕在化しています。

また、家庭の様相も変化し、少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って、地域コミュニティの仕組みが脆弱化して、地域における生活課題の深刻化・複雑化に対応できなくなってきました。

しかし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社会福祉協議会は、こうした今日的な地域福祉の課題を受け止め、その解決に向けた取り組みを図ることが強く求められています。

平成26年度佐賀市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的団体としての特徴を発揮し、「第2期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念「みんなが参加、みんなが福祉、みんなの安心、笑顔が輝く佐賀のまち」の達成を目指して、新たな地域福祉の課題に向き合い、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援や解決につなげ、誰もが安心して暮らすことができる地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組むために、「地域での見守り懇談会の開催」「子育て家庭訪問ボランティア養成講座の開催」「法人後見事業の開始」に取り組みました。

※共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。

I. 法人運営部門

1 役員会開催状況 (210,000円)

理事会	第1回：平成26年5月28日	第2回：平成26年7月29日
	第3回：平成26年9月26日	第4回：平成26年12月24日
	第5回：平成27年3月27日	

2 評議員会開催状況 (309,000円)

評議員会	第1回：平成26年5月28日	第2回：平成26年7月29日
	第3回：平成26年9月26日	第4回：平成26年12月24日
	第5回：平成27年3月27日	

3 監査状況 (36,000円)

平成25年度事業・会計監査	平成26年5月12・13日
平成26年度中間監査	平成26年12月9日

4 苦情の受付及び解決状況 (16,000円)

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

(対応件数：6件)

II. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業 (488,716円)

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

(1) 地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内26地区の同協議会へ出席した。(毎月5日～15日)

(2) 佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため出席した。(毎月25日)

2 地域福祉活動計画策定事業 (54,703円)

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第2期計画策定後の進捗状況について、佐賀市及び地域住民・福祉団体・ボランティア団体・学識経験者等からなる委員会に報告を行った。また、平成28年度以降の第3期計画の策定に向けて、市民アンケート調査を行い、その調査結果について分析・説明を行った。

3 ボランティアセンター事業 (2,792,830円)

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア(個人・グループ)の育成援助及び地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座・行事等を開催し、市民のボランティア意識高揚と、ボランティア活動への参加を促した。

(1) 活動基盤整備事業

①ボランティアコーディネート機能の強化

②ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回：平成26年6月11日 第2回：平成26年9月24日
 第3回：平成26年12月22日 第4回：平成27年3月11日

③人材リストへの登録団体募集

登録団体：36団体 個人登録者 13人

(2) 啓発推進事業

①福祉体験学習指導者派遣事業 (798,725円)

地域・学校等で開催される福祉総合学習(車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等)が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者(クローバーの会)を派遣した。

種別	延講座数(回)	派遣団体数	派遣先
アイマスク指導	114	21	【学校】 神野小、兵庫小、高木瀬小、北川副小、鍋島小、新栄小、開成小、諸富南小、川上小、春日北小、春日小、中川副小、西川副小、東与賀小、思斉館小、成章中、城南中、金泉中、致遠館中、思斉館中、佐賀北高 【企業・地域団体】 佐賀銀行、佐賀地方裁判所、NPO法人セルフ
疑似体験指導	187	24	
車椅子指導	109	24	
講話	4	2	
事前協議	45	22	
合計	459		

(3) 災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

① 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直し

② 災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の開催

開催日：平成26年10月4日 会場：佐賀市立春日北小学校・春日北コミュニティセンター

③ 災害ボランティアセンター研修会への参加

④ 佐賀県防災士会との連携

(4) ボランティア活動の支援

① ボランティア活動保険の受付

加入受付：123団体・11名 事故申請 10件

② ボランティア活動への助成

ボランティア団体：44団体 880,000円

ボランティア連絡[推進]協議会：8団体 400,000円

③ 学校ボランティア育成事業

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育むことを目的に、学校における取り組みに対して、助成を行った(市内小・中・高校が対象)。

助成校：20校(小学校：14校、中学校：4校、高校：1校、特別支援学校：1校)

助成額：475,493円

(5) その他の支援の事業

① 24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

② 佐賀市ボランティア連絡(推進)協議会・ボランティア団体等との連携

4 小地域ネットワーク活動 (35,178,501円)

(1) 災害時要援護者避難支援対策事業 (112,747円)

佐賀市と協働し災害時に避難支援を要する高齢者等(災害時要援護者)に対し、迅速な安否確認、避難支援行動に取り組めるよう、地域支援団体(自治会、民生委員児童委員、校区社協など)の協力を得て、災害時要援護者の登録推進や訓練等を行った。

佐賀市総合防災訓練

平成26年10月4日

(2) 校区社協活動支援事業 (10,405,976円)

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力をを行った。

① 校区社会福祉協議会運営費助成 (5,329,504円)【共募配分(一部)】

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

② 校区社会福祉協議会会長会及び役員会

各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長会を4回、役員会を6回開催し、情報交換を図った。

③ 校区社会福祉協議会役員研修 (935,472円)

校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、県内外の先進地の地区社会福祉協議会役員との交流研修等を実施し、事業の強化・促進を図るとともに、役員「地域づくり」に対する意識を高めた。

開催日：平成26年11月11日～12日

研修地：糸島市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会

④ 年末・年始地域福祉交流事業 (4,141,000円)【歳末配分】

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行った。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸興	ひとり暮らし高齢者への年賀状、勸興まちの駅ふれあい事業、ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会、ほんげんぎょう・もぐらうち	160,000
循誘	循誘ふれあいふるさと祭り、もうすぐ正月祭	205,000
日新	しめ縄づくりとぶた汁会、日新クリスマスライトファンタジー、独居高齢者へ年賀状発送、高齢者新年食事会	305,000
赤松	ひとり暮らし高齢者のふれあいの集い、鯨の門まつり、餅つき・しめ縄づくり、ひとり暮らし高齢者への年賀状、ご近所見守り事業	331,000
神野	第6回カブトムシ大会、ひとり暮らし高齢者交流会、ひとり暮らし高齢者料理教室、神野校区ふれあいサロンスタッフ交流会、ひとり暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布、高齢者男性料理教室	265,000
西与賀	西与賀小学校しめ縄づくり教室、ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	191,000
嘉瀬	ふれあい異世代交流(どようひろば)、異世代交流事業指導者講習会(しめ縄づくり)、ふれあい異世代交流事業(しめ縄づくり・ふれあいもちつき)	156,000
巨勢	巨勢校区社協グラウンドゴルフ大会、餅つき・しめ縄づくり・門松づくり、巨勢小学校昔遊び	140,000
兵庫	友愛・兵庫の集い	183,000
高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会、三世代交流事業、高齢者へのクリスマスプレゼント(靴下・クッキー)	429,000
北川副	ふれあいの集い(2回開催/年)、しめ縄づくり・友愛年賀状もちつき大会、ふれあい冬祭り、高齢者スポーツ大会	285,000
本庄	本庄町民ふれあい「しめ縄づくり・餅つき大会」(独居高齢者配布)	241,000
鍋島	第5回きらめきフェスタ、独居高齢者への年賀状作り、防災キャンプ「なべしまサマキャン2014」、中学生サンタがやってくる、パパと作ろうクリスマスケーキ、防災・減災のための救急救命講座、鍋島小学校PTA餅つき大会、鍋島町区駅伝大会・ふれあいロードレース	259,000
金立	ふれあいの集い	123,000
久保泉	ほんげんぎょう 餅つき大会	71,000
蓮池	蓮池こども冬まつり(しめ縄作り・石窯あそび・みんなで昼食会)	55,000

新 栄	新栄校区三世代交流グランドゴルフ大会、新栄校区年末福祉交流餅つき大会	235,000
若 楠	ふれあいの集い食事会（神野北）、餅つき大会（若宮、高木団地、高木団地、菅高木団地）、世代間交流事業餅つき大会（八丁畷）、若楠ほんげんぎょう	282,000
開 成	三世代グランドゴルフ大会、独居老人宅年賀はがき・餅配布、どんど焼き	225,000
合 計		4,141,000

(3) 見守り活動支援事業 (640,000)

地域ぐるみで支援が必要な人の見守りや話し相手になる中で、電球交換やゴミだし等、福祉サービスの隙間を埋める「地域の支え合い・たすけ合い活動」を校区社会福祉協議会が地域でのつなぎ役となり推進を図る中、取り組みの方向性を示すため先進校区の事例集を作成し、校区社協をはじめ、校区の自治会長や民生児童委員、ボランティア連絡協議会へ配布を行った。

(4) 高齢者サロン事業 (18,226,246円)

地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設（地区公民館、集会所等）を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	4	55	906	310,000
循 誘	11	140	2,275	800,000
日 新	12	127	2,082	860,000
赤 松	1	10	110	70,000
神 野	12	127	3,134	960,000
西与賀	6	65	4,151	450,000
嘉 瀬	6	52	961	290,000
巨 勢	1	11	296	80,000
兵 庫	8	77	963	367,565
高木瀬	10	143	4,333	870,000
北川副	14	209	4,068	1,110,000
本 庄	8	95	1,978	575,000
鍋 島	3	28	616	175,000
金 立	10	160	2,586	715,000
久保泉	3	34	844	240,000
蓮 池	6	63	1,167	450,000
新 栄	6	541	10,943	510,000
若 楠	3	36	814	240,000
開 成	8	393	5,040	548,299
諸 富	17	280	7,601	1,470,000
大 和	21	371	6,090	1,535,000
富 士	8	109	2,104	620,000
三 瀬	6	74	1,077	420,000
川 副	19	218	3,562	1,279,722
東与賀	6	68	1,490	450,000
久保田	11	127	2,142	735,000
合 計	220	3,613	71,333	16,130,586

◎サロン遊具貸出

◎高齢者ふれあいサロン実践者研修会

◎高齢者ふれあいサロン事業説明会

(5) 在宅高齢者会食会等事業 (2, 129, 987 円)

地域の高齢者が公民館等に一堂に会し、食事等の提供を通じて、地域づくりの見守り活動に向けた「気づき」・「実践」の場となることを目的に地区社会福祉協議会等が行う会食会に対して助成を行った。

① 在宅高齢者会食会等助成事業 (1, 725, 332 円) 【共募配分】【歳末配分】 本所

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸興	勸興校区社協	1	115	34,500
循誘	ボランティア循友	2	184	55,200
	循誘地区民児協	1	128	38,400
日新	ボランティアにちりん	7	529	158,700
嘉瀬	せいらんボランティア	5	263	78,900
巨勢	ボランティア巨勢	6	320	96,000
	巨勢地区民児協	1	54	16,200
本庄	本庄校区社協	1	162	48,600
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	96	28,800
	高木瀬校区社協	1	173	51,900
北川副	ボランティア北川副	12	801	240,300
	北川副校区社協	3	691	207,300
鍋島	ボランティア鍋島	3	348	75,700
金立	金立校区社協	8	269	80,700
久保泉	いずみボランティア	2	243	41,600
蓮池	蓮池校区社協	2	89	26,700
新栄	新栄ボランティア	4	711	163,700
	新栄地区民児協	1	70	21,000
若楠	ボランティア若楠	2	278	83,400
開成	開成ボランティアひまわり	7	661	166,600
合計		70	6,185	1,714,200

② 高齢者ふれあい会食会助成事業 (371,000 円) 【歳末配分】 大和

大和地区民生委員児童委員協議会が中心となり、自治会、食生活改善推進協議会、地域ボランティア、学校や育友会（PTA）などとの協働により開催される年末年始の交流事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

春日校区高齢者ふれあい会食会：平成26年10月30日 参加者 90名

春日北校区高齢者ふれあい会食会：平成26年11月29日 参加者 71名

川上校区高齢者ふれあい会食会：平成26年12月21日 参加者 73名

松梅校区高齢者ふれあい会食会：平成27年1月24日 参加者 28名

③ 一人暮らし高齢者見守り事業 (44,787 円) 【共募配分 (一部)】 富士

小地域を単位に関係機関の協力体制のもと会食会を開き、福祉への関心を高めると共に高齢者問題への認識を深め、一人暮らし高齢者を見守る体制の構築を図った。 参加者 延59人

(6) 地域ふれあいまつり事業助成 (80,000 円) 【歳末配分】 大和

各小学校の育友会（PTA）が中心となり、学校や自治会などとの協働により地域住民とのふれあいや親睦を深めるため実施される「地域ふれあいまつり」に対し、助成を行うことで、地域での交流を促進できた。

「春日っ子ワクワク祭り2014」：平成26年11月9日

「きたきた祭りの北っ子ショー」：平成26年11月15日

「土曜夢学級 川上校区ふれあい会食会」：平成26年12月21日

「平成26年度親子ふれあい餅つき大会」：平成26年11月30日

(7) 見守りネットワーク事業 (1,540,384円)

① 見守り懇談会 (1,240,000円) 《新規》

見守りが必要な高齢者が安心して暮らせるよう、ご近所見守り事業と合わせ地域にあった見守り体制を築くために10校(地)区で、懇談会を実施した。

実施校区	テーマ	懇談会の効果
① 循誘	活動の拠点としてのサロン	支えあうことの大切さを再認識し、サロンの新設に向け確認し合うことができた
② 赤松	向こう三軒両隣のおしゃべりを目指して	関係機関(民生委員、自治会、校区社協)の連携により、地域課題を共有することができ、今後の地域活動に見通しがついていた。
③ 神野	サロンを資源としての地域づくり	「ふれあいサロン」により、地域における支えあいの土壌が培われており、その意義や役割について共有することができた。
④ 北川副	企業との協働で地域福祉の発展	活動拠点が無いという課題に対し、企業の社会貢献という新たな事業展開が生まれた。
⑤ 本庄	関心を持つための場面づくり	関係団体との合意形成ができ、地域住民が関心を持ちあい、それぞれの団体が役割を持って活動していることが確認できた。
⑥ 金立	まちづくり協議会と見守り活動	「高齢者の見守り」について、全世帯に知らせることができ、関係団体と具体的な取り組みを検討する合意がとれた。
⑦ 久保泉	困ったときは、お互い様の関係で!	「困ったときは、お互い様」の気運をより高めることができ、今後の活動のステップになった。
⑧ 新栄	校区における地域活動の一体化	懇談会に向け、自治会、民生児童委員、校区社協とで、合意形成に向けた事前研修に取り組むなど、「支えあい」に向け、共通理解を持つことができた。
⑨ 諸富	地域に根ざした見守り活動を目指して	地域に根ざした見守り活動を目指し、関係団体が協議の場を持つことができ、「高齢者支援ニーズ調査」を実施し、今後、分析、活動へと方向性を見出すことができた。
⑩ 川上 (大和支所)	かわかみ流!勝手に見守りたい	自治会、民生委員、おたっしや本舗、まちづくり協議会に加え、JAが加わり、幅広い体制づくりに発展させることができた。

見守り懇談会報告会

校区社協がつなぎ役となり、見守りを通して地域住民が一体となり、誰もが地域の中で安心して生活できるよう懇談会を実施した10校(地)区の多様な活動事例報告会を情報交換の場として提供した。平成27年3月4日

② 小地域見守り活動事業 (300,384円) 【共募配分】

自分の地域で安心して暮らせるように高齢者への見守り及び声かけを行う「ご近所見守り事業」並びに「福祉協力員」「ちょこっとボランティア」等の活動のなかで、安心して活動が行われるようにボランティア活動保険に加入し支援した。

③ 緊急連絡カードの整備 富士

民生委員児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らし高齢者世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カードの配布を行った。

詳細には緊急時に備え、親族や担当民生委員児童委員、自治会長、見守り協力員等の連絡先及びかかりつけ医等を記載し、本人及び関係機関で共有した。対象者 153人

(8) 高齢者生きがいづくり促進事業 (943,439円)

① 地域高齢者生活支援事業 (88,023円) 【共募配分】 諸富

高齢者の介護予防、健康に対する意識の向上を目的として、血圧測定や健康チェック、保健師による講話、軽運動等を実施した。

② 高齢者支援講習会 (22,260円) 東与賀

脳トレーニングやレクリエーションの講習会を実施し、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただいた。

③ 健康体操教室 東与賀

高齢者や壮年者の寝たきりや認知症予防等を目的に、「NPO法人ふれあい館」とタイアップし、

自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

④ 出てこん場事業（194,285円）**富士**

コミュニティバス利用者を対象に専門の関係機関及びボランティアとの連携により、介護予防や生きがいづくりを支援した。

⑤ 銭太鼓養成 **富士**

銭太鼓養成を行ない、積極的に施設訪問や地域のイベントに参加するなど、生きがい健康づくりの推進を図った。

⑥ ふれあいサークル事業 **三瀬**

心や体に障がいがある方を対象に、ものづくりや会話を通じて生活意欲をとり戻し、とじこもりの解消を図った。

⑦ 地域探訪会（384,695円）**諸富 三瀬 東与賀 久保田**

ひとり暮らし高齢者を対象にバスハイクを実施。外出の機会の提供及び参加者・協力者の親睦を図った。

⑧ 楽しい生け花教室（11,352円）**三瀬**

地域の方を講師に身近な野の花を利用した教室を実施することで、高齢者が気軽に集うことができる場を提供し、同世代とふれあうことでとじこもり防止を図った。

⑨ ふれあい食事教室（146,609円）**三瀬**

高齢者が、地元産の食材を使った料理教室に参加することで、身近な食材のよさや調理法を学び、参加者同士の会話を通して閉じこもり防止や生活意欲の向上を図った。

⑩ 男専科事業（62,525円）**三瀬**

男性が元気で長生き出来るように地場食材の調理や加工（蕎麦打ち・わら細工）を学び、生活意欲の向上を図った。

⑪ 高齢者食生活支援事業（20,290円）**東与賀**【共募配分】

高齢者が食事を楽しめるよう、食の改善を図るとともに生活の質・維持向上のために老人クラブと協働で料理教室を実施した。

⑫ ひだまり布の会事業（13,400円）**三瀬**

高齢女性の閉じこもり防止を目的に実施し、持寄り布を利用して物づくりを行い、生活意欲を向上させとじこもりの解消を図った。

(9) 世代間交流事業（497,548円）

① ふれあい会食会【共募配分（一部）】**川副 東与賀 久保田**

(川副) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方々が、民生委員児童委員や高齢者関係機関の職員、ボランティアと会し、日々の生活等の不安や困り事を話す機会を設け、孤独感の解消や閉じこもりの予防を図るとともに、地域課題について話し合う場を持つことを目的に実施した。

(東与賀) 外出の機会の少ない高齢者の孤独感の解消や閉じこもりの予防を図るとともに、関係機関の協力により、市保健師・栄養士による健康相談や栄養指導等を実施することで、健康で自立した生活の継続が図れるよう支援した。

(久保田) 『ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会』外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。

② 地域ふれあい交流事業【共募配分】**川副 久保田**

(川副) 夏祭りやグラウンドゴルフ、田植え体験、ウォーキング&交流会等をとおして、高齢者や児童、障がい者や地域住民が、同じ目的・目標に向けてお互いに協力する場を提供し、地域の活方向上のために交流を図った。

(久保田) 『世代間交流事業』高齢者と子どもと一緒に楽しめる身近なスポーツを通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

(10) 施設・地域交流事業 (116,694 円)

- ① 施設の夏祭り支援 **富士** **東与賀**
(富士) 高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを実施した。
(東与賀) 障がい者福祉施設の夏祭りへの参加・協力をを行い、ボランティアを核に施設利用者と地域住民との交流を通して、施設利用者への理解を深めた。
- ② 障がい児・者との交流会 (66,694 円) **諸富**
障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい児をもつ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。
- ③ 障がい者施設交流事業 (50,000 円) **【歳末配分】** **久保田**
小規模作業所利用者及び家族と民生委員児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深めた。

(11) 歳末地域交流事業 (890,135 円)

- ① 世代間交流しめ縄づくり (195,042 円) **【歳末配分】** **三瀬** **川副** **久保田**
地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりをとおして交流を深めるとともに、日本の慣習や風習に込められた想い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ(地域力)の向上を図った。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育んだ。
- ② 世代間交流餅つき会 (556,213 円) **【歳末配分】** **諸富** **富士** **三瀬** **川副**
餅つきをとおして、高齢者や児童、地域住民が世代を越えた交流を深めるとともに、障がいをもつ方々と地域住民の交流を図り、地域コミュニティの向上を図った。
- ③ 高齢者世帯会食交流会 (87,669 円) **【歳末配分】** **東与賀**
外出の機会が少ない高齢者が一堂に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。
- ④ 年末年始訪問事業 (51,211 円) **【歳末配分】** **久保田**
折紙講座受講者が作成した折紙を、会食会時にプレゼントとして渡すことにより、住民相互の交流を図る。また、絵手紙講座受講者の協力を得て、出来上がった作品を年賀状として送付し、高齢者と地域との交流を深めた。

5 福祉教育・啓発活動 (5,952,256 円)

(1) 広報活動 (4,530,776 円)

- ① 社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新 (4,530,776 円) **【共募配分(一部)】**
社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回(春・夏・秋・新春号)市内全世帯及び事業所に配布した。
また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。
- ② 諸富支所だよりの発行 **諸富**
諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため諸富地区全世帯に回覧した。

(2) 第10回佐賀市社会福祉大会の開催 (615,045 円)

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

開催日：平成27年2月18日

(3) 子ども育成事業 (305,821円)

① ふれあいチャレンジ塾 (233,029円) 【共募配分 (一部)】 富士 三瀬

富士 (105,728円)

「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人(ボランティア支援者)が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

三瀬 (127,301円)

子ども達が世代を超えた地域の方々とのふれあいを通じて、ふるさとを愛し思いやりの心を持ち、何事にもチャレンジする心を育むことを目的に実施した。

② 一輪車育成 (72,792円) 富士

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、地域のイベントへの出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特性を知ってもらうために支援を行った。

(4) 技能ボランティア養成講座 (500,614円)

- ・ 絵手紙ボランティア養成講座 (年6回) 東与賀 久保田
- ・ 折り紙ボランティア養成講座 (年4回) 東与賀 (年6回) 久保田
- ・ レクリエーション指導者養成講座 (年6回) 久保田
- ・ 男の工芸教室 (年4回) 久保田
- ・ 布のおもちゃ作り人材育成 【共募配分 (一部)】 川副
- ・ 被介護者体験研修 川副
- ・ 大人の福祉体験学習 久保田

(5) 実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

6 子育て支援事業 (9,338,361円)

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援する。諸富支所を基幹型とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図る。

◎地域子育て支援センター事業 (8,281,839円) 【共募配分 (一部)】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

(1) 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

① つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。(単位：人)

つどいの広場	開館日数	乳幼児数 (延数)	保護者数 (延数)	ボランティア数 (延数)
ふれあい広場	240	4,775	3,542	167
ふれあいるーむ	245	1,126	768	117
まほろば広場	147	1,067	919	98
みつせマイルキッズ広場	12	122	85	78
むつごろう広場	27	623	572	170
赤ちゃん広場	24	791	783	10
よかっこ広場	19	97	93	18

② 子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った。

(単位：人)

サロン名	実施回数	実施内容	乳幼児数 (延数)	保護者数 (延数)	ボランティア数 (延数)
赤ちゃん広場	12回	乳児対象の発育相談とわらべ唄	188	183	9
かすたねっとサロン	16回	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃづくりや遊び	386	303	119
にこにこ広場	12回	アンパンマン体操、ふれあい遊び	238	191	33
絵本の広場	11回	絵本の読み聞かせ	121	108	28
布おもちゃで遊ぼう	12回	布遊具を使ったふれあい遊び	134	113	36
身近な材料で遊ぼう	12回	紙コップやビニール袋等を使った工作遊び	117	95	32
巣立ちの広場	1回	巣立つ親子を祝う広場	31	25	3
まほろばひろば	39回	出張ひろば、いもほり、カリココンサート、りんご狩り、おやつ作り、プレイルーム、ハンドベルコンサートなど	363	308	42
音と遊ぼう	12回	音楽リズム	158	136	13
赤ちゃん広場	12回	乳幼児の発育相談(保健師) わらべ唄	78	74	6
おはなしの部屋	8回	絵本の読み聞かせ	48	39	13
ベビーマッサージ	4回	ベビーマッサージ(パパ編：1回)	58	63	1
まほろばサロン	3回	マジック&アートバルーン、熊丸みつ子先生サロン、音楽会	152	113	16
ふじっこサクル	12回	七夕会、温泉遊び、ipad教室、ハウイン	131	91	38
ぐんぐん金曜日	37回	づくり、クリスマス会、キャンドルづくり、おは	450	324	38
わらべうたサロン	12回	なし会、アロマ、運動でリフレッシュ、ベビーマ	61	47	0
のびのびタイム	12回	サージ等	84	57	0
みつせスマイルキッズ	12回	バスイク、布おもちゃづくり、ミニ運動会、リンゴ狩り、七夕会、クリスマス会、おやつ作り	122	85	78
よかっこ広場	14回	ベビーマッサージ、幼児安全法講習会、親子でリズムダンス	127	128	12
なかよし広場	12回	リズムダンス、ミニ運動会、乳幼児救急法、クリスマス会、布おもちゃ遊び、大型絵本	160	108	7
むつごろう広場	11回	布おもちゃで遊ぼう	263	241	59
	12回	童話の読み聞かせ	289	266	89

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施(各つどいの場で実施)

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

① 子育てに関する相談(単位：件)

相談内容別					形態別			合計
育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
220	6	6	28	17	139	3	135	277

② 専門家による子育て相談(年6回) 相談 件数 135件

③ 子育て講座の開催(4回連続講座を2か所で実施)

④ 子育て講座「N.Pプログラム」の開催(Nobody, s Perfectの略)

人との関わりが苦手な人を対象に親同士の仲間づくりを促し、不安や戸惑いを感じている子育て中の親同士が悩みや関心のあることを話しながら「自分に合った子育ての仕方」を見つけるプログラムを実施した。

⑤ 親支援講座「N.Pプログラム」フォローアップの開催

(3) 家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』事業の実施

子育てに不安を抱えながらも相談できずに悩みを抱え、閉じこもりがちな就学前の乳幼児のいる家庭を、要望に応じて一定の研修を終了したボランティアが訪問し、寄り添いながら「傾聴(話を聴く)」「協働(一緒に何かをする)」を通して、親が心の安定や自信を取り戻し、虐待など深刻な問題の発生を未然

に防ぐとともに、地域へと踏み出すきっかけづくりを支援するために実施した。

① 子育て家庭訪問ボランティア(ホームビジター)養成講座

開催日：平成26年5月20日～7月1日(8日間、15のカリキュラム)

平成26年度修了者：20名

相談利用状況(H27.3.31現在) 17人

② 連絡会の開催

ホームスタートの現状とボランティアの方のフォローアップのための連絡会・研修会を開催した。

③ フリースペースの開催

「むつごろう広場」と「赤ちゃん広場」の一角に、少し疲れているお母さんのために、寄り添うフリースペースを開設した。

(4) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援

① 子育てサポーターの育成

子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。

② 子育てサークル等の育成・支援

「ひろば」に関わるサークル同士の交流会等の開催や活動の場を提供することにより、子育てサークルの育成・支援を行った。

(5) 乳幼児一時預かり事業

① 広場での一時預かり

子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。

② 出張託児の実施(基幹型)

子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。

(6) 子育て支援に関する情報の提供

子育て情報紙を随時発行し、行事の案内・報告を行うとともに社協だより“愛・あい”やホームページ及び市報さがでも子育て支援に関する情報提供を行った。また、子育てサークルによる子育て情報紙「ハッピーママ」と「ふれあい広場だより」を月1回発行した。

① ホームページによる情報提供

② 子育て情報紙「ハッピーママ」・「ふれあい広場だより」の発行(月1回)

(7) 地域の子育て力を高める取組みの実施

① 出前交流広場の開催

地域のボランティアとともに地区公民館等で「交流サロン」等を開催した。

② 地域世代間交流事業への参画

地域世代間交流事業(こどもフェスタ等)への参画を通して、親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

こどもフェスタ：平成26年6月14日 参加者：576人

出会いの広場：平成26年5月10日 参加者：214人

地域世代間交流行事の支援：地区自治会館等で開催される世代間交流行事の支援を行い、地域ぐるみの子育て支援の促進を図った。

③ 児童の居場所づくり

ふれあい広場において、夏休み等を利用しての小学生のボランティア体験の受入体制を整え、乳幼児や地域住民とのふれあいの場の提供を図った。

④ 父親同士の交流推進

父親同士のつながりを促進するため、父親参加型のサロン(土に親しむサロン)を開催した。

◎地域子育て支援事業（1,056,522円）【共募配分】

- ① 大和まほろば広場・サロン（佐賀市大和老人福祉センター内）（583,800円）
- ② ふれあいる一む（佐賀市富士支所庁舎内）（216,785円）
- ③ よかつこ広場（佐賀市東与賀保健福祉センター内）（141,495円）
- ④ なかよし広場（佐賀市久保田保健センター内）（21,623円）
- ⑤ みつせスマイルキッズ広場（佐賀市三瀬保健福祉センター内）（77,699円）
- ⑥ むつごろう広場（佐賀市保健福祉会館内）（15,120円）

7 各種福祉団体支援事業（2,232,972円）

(1) 福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業（2,232,972円）

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

運営費助成（7団体） 事業助成（2事業）

(2) 福祉バスの利用 ※本所法人運営事業で実施

特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスによる送迎を行った。

登録団体 80団体 利用件数 180件

8 共同募金配分金事業（17,002,388円）

(1) 共同募金配分金事業

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
全市	防犯灯の設置助成	3,017,000	3,017,000
	在宅高齢者会食会助成事業	1,725,322	548,837
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,329,504	2,850,000
	社協だより“愛あい”の発行	4,530,776	421,500
	むつごろう文庫・広場	15,120	15,120
	小地域見守り活動事業	300,384	300,384
	地域子育て支援センター	8,281,839	981,000
諸富	地域高齢者生活支援事業	88,023	88,023
	障がい児との交流会	15,977	15,977
大和	まほろばひろば	548,399	535,599
	まほろばサロン	35,401	35,401
富士	一人暮らし高齢者見守り事業	44,787	32,987
	ふれあいチャレンジ塾	105,728	97,228
	子育て支援事業（ふれあいる一む）	216,785	216,785
三瀬	ふれあいチャレンジ塾	127,301	110,301
	みつせスマイルキッズ広場	77,699	71,699
川副	布のおもちゃ作り人材育成	180,489	180,489
	ふれあい会食会（世代間ふれあい交流事業）	135,000	135,000
	地域ふれあい交流事業	140,511	140,511
東与賀	高齢者食生活支援事業	20,290	14,290
	ふれあい会食会	81,160	75,960
	よかつこ広場	141,495	141,451

久保田	ふれあい会食会	83,049	69,549
	地域ふれあい交流事業	57,828	57,828
	なかよし広場	21,623	21,623
合 計			10,174,542

(2) 歳末たすけあい配分金事業

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

	事業名	事業額(円)
本所	年末・年始地域福祉交流事業（校区社協）	4,141,000
	在宅高齢者会食会助成事業	1,176,495
	事務費	68,499
諸富	障がい児との交流会	50,717
	世代間交流餅つき会	179,737
大和	地域ふれあいまつり事業助成	80,000
	高齢者ふれあい会食会助成事業	371,000
富士	餅つき交流訪問事業	122,000
三瀬	世代間交流しめ縄作り	9,300
	世代間交流餅つき会	31,700
川副	世代間交流しめ縄作り	108,110
	世代間交流餅つき会	222,776
東与賀	高齢者世帯会食交流会	87,669
久保田	障がい者施設交流事業	50,000
	世代間交流しめ縄作り	77,632
	年末年始訪問事業	51,211
合 計		6,827,846

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（6,633,716円）

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

(1) 基幹的社協（佐賀市、多久市、小城市、神崎市及び吉野ヶ里町）の受託

生活支援専門員の配置

基幹的社協として生活支援専門員を配置し、佐賀市・多久市・小城市・神崎市及び吉野ヶ里町における相談や契約の手続き等を、各市町社協と連携し行った。 契約者数：24人

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施（佐賀市分）

- ① 福祉サービスの利用援助サービス
- ② 日常的な金銭管理サービス
- ③ 書類等の預かりサービス

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件/年)
契約者数	62	36	34	4	136	2,616

2 法人後見事業 (62,220 円) <<新規>>

成年後見制度に関する問い合わせや相談等も増えてきており、その都度応じている。佐賀家庭裁判所より、成年（法人）後見人としての受任依頼もあり、本格的に事業を開始した。

問い合わせ・相談件数 112件 受任件数 3件（後見1・保佐2）

3 生活福祉資金貸付事業 (5,450,000 円)

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。

	生活福祉資金(件)	臨時特例つなぎ資金(件)	合計(件)
相談等件数	215	4	219
貸付件数	4	0	4

4 福祉資金（小口）貸付事業 (4,736,972 円)

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

	件数(件)	金額(円)
相談・問い合わせ	272	
貸付	167	4,542,139
償還	201	4,354,850

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付けに対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため

5 移送サービス事業 (439,130 円)

市内に居住し、単独では既存の交通機関の利用が困難な在宅の高齢者や身体障がい者（移動制限者）にボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスにより地域生活の継続支援を行った。

利用登録者	運転ボランティア登録者	利用者数(延)	内訳(複数利用あり)(件)		
			医療機関	公共機関	社会参加
38	24	330	327	38	54

6 放課後児童クラブ事業 (13,826,000 円) 大和 川副

地区内の小学校に通学し、保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び長期休暇期間中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

(1) 松梅児童クラブ (2,917,000 円)

(2) 南川副児童、西川副児童、中川副児童及び大詫間児童クラブ (10,909,000 円)

7 住民の福祉活動の推進・支援 (4,012,300 円)

(1) 小災害罹災世帯に対する見舞 (220,000 円)

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	災害件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金(円)
火災	10	10	34	220,000

(2) 児童遊園地整備助成金 (775,300 円)

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	1	58,700	諸 富	2	63,400
北川副	2	59,500	川 上	1	100,000
本 庄	4	89,000	西川副	1	19,400
鍋 島	1	44,300	中川副	1	45,100
金 立	1	53,700	東与賀	3	72,800
蓮 池	2	118,900	久保田	1	50,500
			合 計	20	775,300

(3) 防犯灯の設置助成 (3,017,000 円) 【共募配分】

市内地区自治会が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修を行うために防犯灯設置数に応じ助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	315	68,000	新 栄	498	107,000
循 誘	530	113,000	若 楠	531	114,000
日 新	654	140,000	開 成	654	140,000
赤 松	582	124,000	諸 富	739	158,000
神 野	534	114,000	春 日	465	100,000
西与賀	433	93,000	春日北	411	88,000
嘉 瀬	303	65,000	川 上	485	104,000
巨 勢	298	64,000	松 梅	131	28,000
兵 庫	629	134,000	富 士	734	157,000
高木瀬	763	163,000	三 瀬	196	42,000
北川副	786	168,000	南川副	24	6,000
本 庄	791	169,000	西川副	39	9,000
鍋 島	597	128,000	中川副	7	2,000
金 立	350	75,000	東与賀	564	121,000
久保泉	305	65,000	久保田	662	141,000
蓮 池	79	17,000	合 計	14,089	3,017,000

(4) 備品の貸し出し

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

(5) ごみカレンダー点字版の配布

パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方(26名)に配布した。

(6) 暮らしのトラブル無料法律相談 富士

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、ボランティアの協力により、市民からの相談に応じる体制を整えた。

(7) 県内高齢者フリー定期券(昭和自動車シルバーパス)販売 富士 三瀬

社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促進を図った。

8 富士地区コミュニティバス実験運行事業(765,965 円)(富士地区高齢者憩いの家事業)

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを平成26年9月まで支援した。

実施日数(日)	延利用者数(人)	1日平均(人)
70	1,021	14.6

富士町コミュニティバス運行事業（1,435,194円）（富士地区高齢者憩いの家事業）

平成26年10月より、市町村運営有償運送として佐賀市富士地区で運行するコミュニティバスについて、佐賀市からの委託を受け下記の業務を行った。

実施日数（日）	延利用者数（人）	1回平均（人）	パス券発行枚数（人）
93	1,618	10.7	94

●富士地区高齢者憩いの家事業

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

実施日数（日）	延利用者数（人）	1日平均（人）
93	993	10.7

9 三瀬地域巡回バス運営事業（2,659,782円）三瀬

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日5便運行し、住民福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

稼働日数（日）	延利用人数（人）	内訳	
		一般（人）	児童（人）
243	3,613	2,314	1,299

10 流水浴機器等管理運営事業（1,812,000円）三瀬

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

利用者 延2,901人

11 老人福祉センター等運営事業（71,275,681円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

（1）佐賀市平松老人福祉センター（18,739,808円）

- ① 平松老人福祉センター事業 年間延利用者数：41,614人（1日平均：142人）
- ② 佐賀市平松清風大学 学生数：120名

（2）佐賀市巨勢老人福祉センター（14,291,937円）

- ① 巨勢老人福祉センター事業 年間延利用者数：26,277人（1日平均：90人）
- ② 巨勢シルバーカレッジ 学生数：54名

（3）佐賀市金立いこいの家（11,826,394円）

- ① 金立いこいの家事業 年間延利用者数：21,108人（1日平均：73人）
- ② 金立いこいの家文化講座 学生数：45名

（4）佐賀市開成老人福祉センター（13,019,366円）

- ① 開成老人福祉センター事業 年間延利用者数：12,188人（1日平均：42人）

（5）佐賀市大和老人福祉センター（13,398,176円）

- ① 大和老人福祉センター事業 年間延利用者数：10,689人（1日平均：37人）
- ② 温泉バスの運行
- ③ まほろば高齢者講座 8日間 延参加者数：48人

1 2 松梅児童館運営事業 (14,612,848 円) 大和

児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、集団的および個別指導を行い、父母の会、子ども会など地域活動の支援を図った。

開館日数 (日)	利用者 (人)					1 日平均
	館児	幼児	小学生	一般	総計	
295	6,190	1,207	1,064	1,734	10,195	34.6

- (1) 就学前児童の集団利用 (保育：1 歳児から 5 歳児) 「児童数：30 名」
- (2) 父母の会活動支援
- (3) 地域住民との交流事業
- (4) 子育て相談

1 3 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業 (29,925,941 円)

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

入所世帯数：15 世帯 (38 名)

1 4 佐賀市産業振興会館管理事業 (1,362,930 円)

1 5 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

1 6 佐賀市久保田総合センター管理事業 (2,777,000 円)

IV. 在宅福祉サービス部門

1 居宅介護支援事業 (13,615,802 円)

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

(1) 居宅介護支援佐賀事業所 (6,928,644 円) 本所

要介護度	人数
要介護 (1～5)	51
要支援 (1～2)	8

(2) 居宅介護支援南部事業所 (6,687,158 円) 川副

介護度	人数
要介護 (1～5)	59
要支援 (1～2)	6

2 訪問介護事業 (7,568,819 円) 川副

介護保険法により介護認定を受けた方が、在宅において自立した日常生活を送れるように、「身体介護」「家事援助」「両方の複合型」等のサービスを提供するため、ケアプランに基づいて訪問介護員 (ホームヘルパー) を派遣した。

介護度	サービス提供件数	月平均 (件)
要介護 (1～5)	2,236	186.3
要支援 (1～2)	769	64.1

3 通所介護事業 (55,329,944円)

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

(1) 開成デイサービスセンター事業 (29,446,323円) 開成

実施日数(日)	延利用者数(人)	1日平均(人)
255	4,942	19.4

(2) デイサービスセンターさくら事業 (25,883,621円) 大和

実施日数(日)	延利用者数(人)	1日平均(人)
254	4,818	19.0

4 ガイドヘルパー事業 (179,103円) ※平成26年8月31日廃止

重度の視覚障がい者が、通院や社会参加のために外出を行う場合に、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣した。

5 身体障がい者居宅介護支援事業 (2,600円) 川副

在宅で生活を営む身体障がい者手帳(重度)の取得者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(1) 赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。
(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	県共募・中央 共募送金分	合計
戸別募金	11,314,362	1,036,000	1,942,150	420,700	145,250	1,449,850	824,600	717,500	0	17,850,412
街頭募金	116,643	0	39,487	0	29,578	0	0	0	0	185,708
法人募金	1,920,146	678,000	155,500	336,358	100,205	454,800	210,207	238,000	40,000	4,133,216
学校募金	81,328	11,872	0	16,265	5,905	44,177	0	0	75,098	234,645
職域（資材）	1,422,250	340,150	276,100	181,100	52,800	55,150	113,500	154,350	7,700	2,603,100
職域・その他	249,075	19,433	8,147	71,751	28,515	32	44,154	15,087	52,314	488,508
合計	15,103,804	2,085,455	2,421,384	1,026,174	362,253	2,004,009	1,192,461	1,124,937	175,112	25,495,589

(2) 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	県共募・中央 共募送金分	合計
戸別募金	4,548,131	307,800	554,900	120,200	41,500	416,400	235,600	205,600	0	6,430,131
その他	146,272	15,000	17	53,000	4,642	3,370	912	34,807	0	258,020
合計	4,694,403	322,800	554,917	173,200	46,142	419,770	236,512	240,407	0	6,688,151

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

- ◎広島県大雨災害 (8月～3月) 5,353円
- ◎京都府大雨災害 (8月～12月) 2,483円
- ◎丹波市豪雨災害 (8月～12月) 739円

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。

(単位：円)

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
社費・寄付金	12,696,913	1,412,100	2,793,600	601,000	207,500	2,111,000	1,170,500	1,024,000	22,016,613

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

①「習って良かった！災害時に活かせる赤十字救急法講習会」

世界赤十字デー（5月8日）の全国統一キャンペーン事業として、広く赤十字活動を理解していただくことと、一般市民が行う一次救命処置の普及を目的に日赤佐賀県支部主催により講習会を開催した。

- 開催日 平成26年5月21日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 84人

②講習への講師（指導員）派遣

救急法：3ヶ所、幼児安全法：2ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

○助成金交付 1校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

- ◎東日本大震災 (4月～3月) 263,904円 (3月31日現在)
- ◎広島県大雨災害 (8月～3月) 121,777円
- ◎徳島県台風災害 (8月～10月) 738円

(参考) 東日本大震災災害義援金取り扱い状況

(単位：円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
共同募金会へ	2,690,743	7,327,468	175,902	135,536	-	10,329,649
日本赤十字社へ	3,963,156	21,031,191	780,958	149,805	263,904	26,189,014
合計	6,653,899	28,358,659	956,860	285,341	263,904	36,518,663

(4) 火事等の罹災世帯への援助

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生の向上を図る。

平成26年度 佐賀市社会福祉協議会決算の概要

収入の部	決算額 (円)	構成比 (%)
会費収入	16,796,942	3.0%
寄附金収入	17,924,867	3.2%
補助金収入	149,624,694	26.7%
受託金収入	143,983,686	25.8%
事業収入	15,766,790	2.8%
負担金収入	1,813,179	0.3%
介護保険等収入	98,574,047	17.6%
積立資産取崩収入	74,130,140	13.3%
利息収入	287,306	0.1%
その他の収入	2,366,247	0.4%
前期末支払資金	38,186,325	6.8%
収入合計	559,454,223	100%
支出の部	決算額 (円)	構成比 (%)
社会福祉事業拠点区分	328,767,480	63.1%
1. 法人運営事業	226,318,846	43.4%
2. 地域福祉活進事業	47,235,493	9.1%
企画・広報費	4,674,321	
地域福祉活動計画策定事業	54,703	
ボランティアセンター事業	2,792,830	
災害時要援護避難対策事業	112,747	
高齢者サロン事業	18,226,246	
地域子育て支援センター事業	8,281,839	
地域福祉活動推進事業	13,092,807	
3. 共同募金配分金事業	13,252,232	2.5%
4. 福祉サービス利用支援事業	31,773,937	6.1%
福祉サービス利用援助事業	6,633,716	
法人後見事業	62,220	
移送サービス事業	439,130	
放課後児童クラブ事業	13,826,000	
富士地区コミュニティバス実験運行事業	765,965	
富士町コミュニティバス運行事業	1,435,194	
三瀬地域巡回バス事業	2,659,782	
流水浴機器等管理事業	1,812,000	
福祉センター等会館管理事業	4,139,930	
5. 生活福祉資金貸付事業	10,186,972	2.0%
生活福祉資金貸付事業	5,450,000	
福祉資金貸付事業	4,736,972	
施設経営事業拠点区分	115,814,470	22.2%
6. 老人福祉センター等事業	71,275,681	13.7%
7. 松梅児童館運営事業	14,612,848	2.8%
8. 母子生活支援施設事業	29,925,941	5.7%
介護保険等事業拠点区分	76,696,268	14.7%
9. 居宅介護支援事業	13,615,802	2.6%
10. 訪問介護事業	7,568,819	1.5%
11. 通所介護事業	55,329,944	10.6%
12. ガイドヘルパー事業	179,103	0.0%
13. 居宅介護事業	2,600	0.0%
支出合計	521,278,218	100%
収支差額	38,176,005	

*各事業間内部取引のサービス区分間繰入額(19,619,978円)及び拠点区分間繰入額(31,099,374円)を除く。